



# 本郷の輝き

横浜市立本郷小学校  
学校便り 10月号  
令和2年9月30日

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

興味をもって

副校長 和田 晋治

小学校では、今年度から新しい学習指導要領に準じて教育活動を行っています。新しく外国語が教科化されたり、各教科の評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つに変わったりと、大きな節目となる1年です。それぞれの教科で単元の入替えや指導内容の変更も行われました。

最近(9月16日現在)2年生の算数の授業で「水のかさ」を学習していました。この単位ではかさの単位としてL(リットル)やdL(デシリットル)、mL(ミリリットル)を学習します。LやmLは目にすることがありますが、dLは日常ほとんど見かけません。昔、病院で点滴を受けた時に5dLと表示されているのを見つけ、何故か嬉しかったことを覚えています。最近では500mL表示になっていました。現在も医療の現場では、例えば血液検査などでdLを用いています。子どもたちには馴染みがないですね。

同じ2年生の学習の「長さ」でも子どもたちは長さの単位を学びました。m(メートル)やcm(センチメートル)mm(ミリメートル)です。子どもたちにとっては長さの方が馴染みがあるかもしれません。

かさと長さ、量に違いがありますが実は両方とも19世紀に世界共通の単位として決めた「メートル法」と呼ばれる単位です。当時地球の子午線の北極から赤道までの長さの千万分の一の長さを1m(現在では光速を使っています)と決めました。地球の長さが基になっていたなんて輝きのある単位なんだと心が震える思いでした。1Lは一辺の長さが10cmの立方体(サイコロ)に入る水のかさ(体積)と決めましたので、メートル法の単位です。学年が進むと他の量もそして範囲も広がります。右

大きさを表すことば	キロ k	ヘクト h	デカ da		デシ d	センチ c	ミリ m
意味	1000倍	100倍	10倍	1	$\frac{1}{10}$ 倍	$\frac{1}{100}$ 倍	$\frac{1}{1000}$ 倍
長さの単位	km	(hm)	(dam)	m	(dm)	cm	mm
重さの単位	kg	(hg)	(dag)	g	(dg)	(cg)	mg
体積の単位	kL	(hL)	(daL)	L	dL	(cL)	mL

の表は昨年度までの6年生の教科書に出ていたものです。今回の改定で2年~5年に分散しての指導となりました。( )がついている単位は指導されないものだったり、日本でほとんど使われないもの

だったりしますが、ヨーロッパなどではcL(センチリットル)は日常的に使われています。画像はイタリア製のガラス製品ですが50cLと表示されていました。イタリアのお土産と言いたいのですが100均商品です。



コロナ禍の中での生活や学習がまだ続きますが、学習したことから日常の生活を振り返ったり、新たな疑問を見つけたり、興味をもつなどして自ら進んで調べていく「主体的に学習に取り組む態度」を身に付けて欲しいと願っています。